

# オオワシ・オジロワシが歓迎！

## 森林ボランティアオホーツクの会「冬の自然観察会」

晴天の2月23日、一般市民を含め36名の参加で、森林ボランティア「オホーツクの会」主催の『冬の自然観察会』が網走湖呼人半島で行われ、常呂川森林ふれあい推進センターも活動支援しました。

4つのグループに分かれ、スノーシューを履いて真っ白な雪原を出発し、冬芽や葉痕を観察しながら冬の森林を散策しました。

オニグルミの葉痕では「サル顔？ムクノ『叫び』みたい」との声がありました。

また、散策の途中で天然記念物・国内希少種に指定されているオオワシ・オジロワシが団体に頭上を舞って歓迎してくれ、「ウワー、きれい！スゴ〜イ！カッコイイ！」などの歓声が上がりました。

散策終了後は、名勝天都山（国定公園）に移って昼食を食べた後、オホーツク海一面



に広がる流氷や雄阿寒岳・藻琴山・斜里岳・知床連山などの展望を楽しみました。

最後に、「オホーツクの会では自然散策の他に森林づくりのボランティア活動などを行っており、今後とも皆さんの協力をお願いしたい。」と

いうまとめで散策会を終了しました。

なお、常呂川森林ふれあい推進センターでは、森林ボランティア団体への活動支援を行っていますので、お気軽にご相談願います。